

研究構想シート		学校名	松江市立島根中学校
		氏名	青木 優子
A 研究主題 『様々な課題に意欲的に取り組み、ともに学び合う生徒の育成 ～認める力・伝える力・挑戦する力を伸ばす実践を通して～』			
B 研究の目的 生徒が様々な課題に意欲的に取り組み、協働しながら学び合う態度を育成するために、 伸ばしたい3つの力を設定し、効果的に伸ばす方法を探る。			
C 子どもの実態 【強み】 ・幼い頃から互いのことをよく知っていて、支え合う土壌がある。 ・家族的で温かい雰囲気が醸成されているので、ペア活動やグループ活動は取り入れやすい。 ・素直で真面目な生徒が多く、我慢よく取り組む雰囲気がある。 【弱み】 ・仲間に対して固定的な見方をしやすい傾向がある。仲間の変化・成長に気づけない。 ・現状を維持し、まわりに合わせることに注力しがちな生徒が多い。 ・経験不足。 ・仕切るのが苦手。表現力や、一歩前に出る力が弱い。	E 手立て・内容（研究仮説） 生徒の実態をふまえて、全教職員が共通の目標に向かって取り組んでいくことで効果的に生徒の力を伸ばすことができるであろう。		D めざす子どもの姿 ・自己理解、他者理解を深め、自信をもって取り組むことができる生徒 ・その場に応じて協働しながら他者を尊重することができる生徒 ・自分の思いや考えを表現したい、伝えたいという学び意欲をもった生徒 ・自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝える力がある生徒 ・希望や目標に向かって、自他の力を伸ばそうとする意欲のある生徒 ・自ら課題を見付け、試行錯誤しながら自己の取組を調整し、解決しようとする生徒
	F 検証方法 「伸ばしたい3つの力」を設定し、取組を精選して効果的な実践を図る。 PDCAサイクルを働かせ、計画の立て直しを行う。 【重点的な取組】 ①「思考力・判断力・表現力」の育成を意識した学習指導 ②キャリア教育の充実 ③1分間スピーチ ④友愛タイム ⑤しおかせタイム		
	G 研究計画 ①・各学年1名以上（個人としては、2年に1回）授業を公開する。 ・生徒対象の学習アンケートを7月、12月に実施し、取組の再検討を行う。 ②・地元で働く人や企業の人材育成をしている人の話を聞き、働く人の生き方に触れる。 ③・終礼時に、学年の実情に合わせたテーマで実施する。 ④・Simpleを参考に、定期的に人間関係を学ぶプログラムを計画する。 ・学年だけでなく、行事の前後には縦割り班で実施する。 ⑤・3年間を見通した50分間のコミュニケーションスキルの指導を計画実施する。 他・職員会でミニ研修を年に数回行う。 ⇒テーマ：人権・図書館教育（思考ツールの利用法）		